

誓いの言葉

例年よりも多い積雪に見舞われた冬も
終わりを告げ、いよいよ春の訪れを感じ
るようになりました。私達六十六名は新
たな希望と期待を胸に、四十五期生とし
て仁賀保高校に入学します。

高等学校に入学するということは、今
まで共に過ごしてきた仲間と別れ、自分
の決めた道を進むということでもありま
す。中学校では目標を達成できなかった
り、やり残したことがある人もいるでし
よう。しかし、中学校での後悔は一旦忘
れて、高等学校では気持ちを切り替えて
頑張りましょう。

高校生になると、これまで以上に自分
自身の選択や行動に責任を負うことにな
ると思います。先生や保護者の方々の
協力を得て苦難を乗り越えていきましょ
う。

仁賀保高校はにかほ市と協定を結んだ
ことによつて、より地域に密着した高校
になりました。私は、仁賀保高校に入学
してからは他の高校の生徒は体験するこ
とのできないような経験をしたいと考え
ています。そのために、日々の勉強や授

業の予習と復習を大切にします。勉強がわからないまま、遅れをとるということにならないように、苦手教科の勉強にも力を入れたいです。

これから、中学校以上に学校だけでなく、校外に出るの活動が増えると思いますが、先輩や同級生の力を借りて取り組んで行きたいです。

本日は私達新入生のために、このような盛大な式典を開いていただき、ありがとうございます。校長先生をはじめ、たくさんの先生方や先輩方、ご来賓の方々、保護者の皆様にも、心から感謝申し上げます。

新入生一同、仁賀保高校の校訓である「自立 克己 友愛」を深く心に刻み、仁賀保高等学校の生徒としての自覚を持つとともに、将来の夢の実現に向け、有意義な3年間を送ることを、ここに固く誓います。

令和三年四月六日

新入生代表 木村 脩斗